

児童発達支援評価表 集計結果

公表:令和3年12月21日

事業所名 こどもプラスほしのこジュニア

		項目	はい	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		東京都の基準により児童1名につき、3㎡と定められています。当教室は81㎡あり、基準よりも広く、十分なスペースを確保しています。現在、新型コロナウイルスの感染防止のため児童同士の距離が近くならないよう、座って待つ位置に目印をつけています。また、幼稚園から直接来所する児童も多く、可動式の目隠しを使用することで着替えるスペースを確保しています。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○		加配をとり多く配置することで、児童の安全面に考慮しています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化されか環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		当教室があるビルはエレベーターが完備されています。室内には安全面に留意し、衝突時に備えてコーナーガードを設置しています。掲示物は、感染症の予防のポイントや正しい手洗いの仕方等、イラストが入っているものを使用しています。分かりやすく伝えることで正しい手の洗い方など、意識する児童が多く見受けられています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	○		コロナ禍であることもあり、朝・児童退所後、清掃・消毒をより徹底して行っています。CO2濃度測定器を導入し、数値を見て換気を行っています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		毎朝のミーティング等で、前日の児童の様子振り返りやその日に利用する児童の情報、連絡事項の共有をしています。また、それぞれの視点より、気付いた点やどのように支援していくか等、話し合っています。	
	⑥	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		年に一度、保護者に向けて事業所の評価をお願いしています。	コロナ禍によりフィードバックやご家庭での様子を共有する機会が減ってしまったため、日頃の些細なことも共有できる方法を考えています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		事業所向け・保護者向け評価表の結果を集計し、ホームページで公表後、ほしのこだより等で公表した旨を保護者の方に周知します。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか		○	こどもプラスの本部より定期的に評価していただき、改善すべき点を反映しています。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		「虐待防止」「強度行動障害」「防災」「運動保育士」の研修に参加しています。また、内部研修として、こどもプラス本部が配信している動画を用いながら、研修を行っています。	
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		個別支援計画の見直しを6か月に1回、あるいは児童の成長に応じて行っています。その際、職員間で話し合いますが、保護者の方からも意見をうかがい作成をしています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		契約時・年度が替わる際に、アセスメントシートを配布し、記入をしていただいています。	

適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		個別支援計画を作成する際に、参考にしています。児童発達支援ガイドラインと照らし合わせてその児童の支援に必要な項目を選び、具体的な支援内容を設定できるように努めています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		各職員がそれぞれの児童の個別支援計画を確認しており、意識して療育に取り入れています。ただ、集団での療育の為、毎回全ての児童の個別支援計画に沿った内容を行うのは難しいことがあります。また、児童全体の課題としてあげられることを意図的に取り入れ、活動を展開しています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		ミーティング時に話し合いを行っています。子ども達の個々の能力・課題に合わせた療育を立案し、職員間で内容が同じにならないよう常に臨機応変に対応しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		繰り返し経験を積むことにより理解につながることも多くあるため、定期的に取り入れることがあります。しかし、固定化しないよう季節ならではの制作や、児童の発達に合わせた活動を行うよう意識しています。また、内容に意図を持たせた活動を心がけています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		個別活動や集団活動を組み合わせるよう個別支援計画を作成するよう努めていますが、児童一人一人の課題を重視しています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎朝職員ミーティングを行い、その日に来所する児童の情報共有や、その日に行う療育内容について話し合っています。また、前日の振り返りや保護者からの連絡事項についても併せて職員全体で共有しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		支援終了後の振り返りについては必ず毎回ではありませんが、出来るだけ行うようにしています。それぞれの職員からの視点を共有することで、気づきにつながる事が多く、日々の療育に取り入れています。また、振り返りが難しい際には、翌日の職員ミーティング時に共有しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		各児童の1日の様子・サービス提供内容・全体の活動日誌の記載を行っています。支援に関する記録を行っている中で、その日の支援を振り返り、改善点を出しています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半年に1度、もしくは児童の発達に合わせてモニタリングを行っています。ご家庭での様子、教室での様子から児童の成長について保護者の方と職員からの意見をすり合わせています。	
		21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		障害児相談支援事業所の担当者会議がありませんが、お電話があった際は対応しています。
22		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		今年度、該当なし。	児童発達支援管理責任者が対応していきます。
23		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		重症心身障害児以外を対象としている為、該当なし。	
24		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		重症心身障害児以外を対象としている為、該当なし。	
25		移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容などの情報共有と相互理解を図っているか	○		移行支援としてありませんが、保育園・幼稚園へ見学に行かせていただいています(現在はコロナ禍の為行けていません)。あるいは、園の先生が見学いらっしゃることもあります。また園の先生からご連絡をいただいた際には、教室での様子をお伝えすることで、教室での情報共有と相互理解を図っています。	

関係機関や保護者との連携	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	今年度、該当なし。	今後、行っていく予定です。
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	姉妹教室との連携を図り、児童を多面的視点で支援が行えるよう努めています。	
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○	新型コロナウイルスの感染予防の観点より、行っていません。	地域交流の場として夏祭り等、例年開催しておりましたが、今年も新型コロナウイルスの影響により中止としています。今後は、感染予防に留意し、地域交流の場がないか検討させていただきます。
	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	区が開催しているネットワーク会議等への参加をしています。	
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	新型コロナウイルスの感染予防により、以前のような療育後、保護者の方へのフィードバックの時間を設けることが難しくなっている状況です。保護者の方からの面談の要望や手短にお伝えできる範囲での対応とさせていただきます。	
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○	年長児童の保護者の方が就学に向けて大きな不安があるとうかがい、姉妹教室の先輩お母さまや同じ学年の保護者の方とお話をする機会(ペアレント・トレーニング)を作りました。今後も新型コロナウイルスの感染防止対策をしっかりと行いながら、家族支援の方法を考えていきます。	
保護者への説明責任等	③2	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	契約時に、契約書類の読み合わせを行っています。また、変更があった場合も同様にお伝えをしています。	
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	支援内容の説明時に、保護者の方が納得できる内容であるか確認をしていただいています。	ご希望であれば、児童発達支援ガイドラインを提示しながら対応致します。
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	定期的に行われるモニタリング時、個別支援計画の見直し時に、保護者の方のご相談に対応しています。また、日々の相談についても電話や事前に日時を決めてから相談室を開放し、対応させていただいています。	
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	参加人数の定員を決める、検温や消毒を徹底するなど、新型コロナウイルス感染予防対策をしっかりと行いながら、保護者会を開催しました。	
	③6	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	保護者の方から申し入れがあった場合、随時予定を調整し、相談室にて対応しています。	
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	毎月ほしのこだよりを発行し、児童の様子や連絡事項、お家でできる療育について記載しています。また、ホームページやFacebook、Instagramも定期的に更新し情報を発信しています。	
	③8	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	○	個人情報が記載されている書類については、鍵付きの書庫にて管理しています。	

	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		保護者の方と情報共有を図り、児童とのやり取りができるように努めています。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		新型コロナウイルスの感染防止により、例年行っていた行事については開催できておりません。	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		各マニュアルを策定し、教室に保管しています。	マニュアルの閲覧のご要望がありましたら、随時対応致します。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年に2回以上の避難訓練実施が義務付けられています。一時避難場所である徳持神社までの避難訓練を含め、教室内での防災訓練等を実施しています。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		契約時・年度が替わる際に、アセスメントシートの記入をお願いしています。また、契約時に、体調面で留意することを確認させていただいています。児童入室時、保護者の方に当日の体調についておかがいしています。	現在は、3回の検温時に、37.3度以上の熱が続いている場合は、お迎えをお願いしています。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		医師の指示書はなく保護者の方からの指示によって対応していますが、必要に応じて医師の診断書等の提出をお願いしております。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットが起きた際は、記録と職員間でのフィードバックを徹底しています。また、再発防止の為の対策を話し合い、改善に努めています。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		外部で行われる虐待防止研修に参加しています。研修後に、参加した職員が内容を共有し、教室内・外で起こりうる虐待について話し合う場を設けています。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず、身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		身体拘束についての話し合いは定期的に行っており、虐待防止に関するマニュアルもあります。現時点では個別支援計画に記載している方はおりません。	今後については、来年度から義務化される点も含め、個別支援計画に記載を行うことを検討しています。